

2024年6月11日
大森建設株式会社

NEDO グリーンイノベーション基金事業 / 浮体式洋上風力実証事業の採択決定について

当社が出資を予定する秋田県南部沖浮体式洋上風力株式会社（以下「事業会社」）は、事業会社が参画するコンソーシアムを通じて、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「グリーンイノベーション基金（※）事業/洋上風力発電の低コスト化/浮体式洋上風力実証事業（フェーズ2）」（以下、「グリーンイノベーション基金」）に、「低コスト化による海外展開を見据えた秋田県南部沖浮体式洋上風力実証事業」（以下、本事業）を共同で提案し、採択されました。

事業会社は、丸紅株式会社が出資する特別目的会社であり、今後、所定の手続きを経て、当社から出資を予定しています。

コンソーシアムの構成員は、事業会社のほか、幹事企業の丸紅洋上風力開発株式会社、東北電力株式会社、ジャパン マリンユナイテッド株式会社、東亜建設工業株式会社、東京製綱繊維ロープ株式会社、関電プラント株式会社、JFE エンジニアリング株式会社、中日本航空株式会社です。

洋上風力発電は大量導入やコスト低減のポテンシャルが大きく、経済波及効果が見込まれることから、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた切り札とされています。特に浮体式洋上風力発電は広範囲な海域に設置が可能なため、早期のコスト低減を行うことで、今後の導入拡大が期待されています。「洋上風力発電の低コスト化」プロジェクトは、2030年度までに、一定の条件下で、浮体式洋上風力発電を国際競争力のあるコスト水準で商用化する技術の確立を目標としています。

本事業は、秋田県南部沖の沖合約 25km、水深約 400m の海域に、1基あたり 15MW 超の風力発電機 2基を設置し、2029年秋頃の運転開始を予定しています。なお、本事業の期間は2024年7月から2031年3月です。

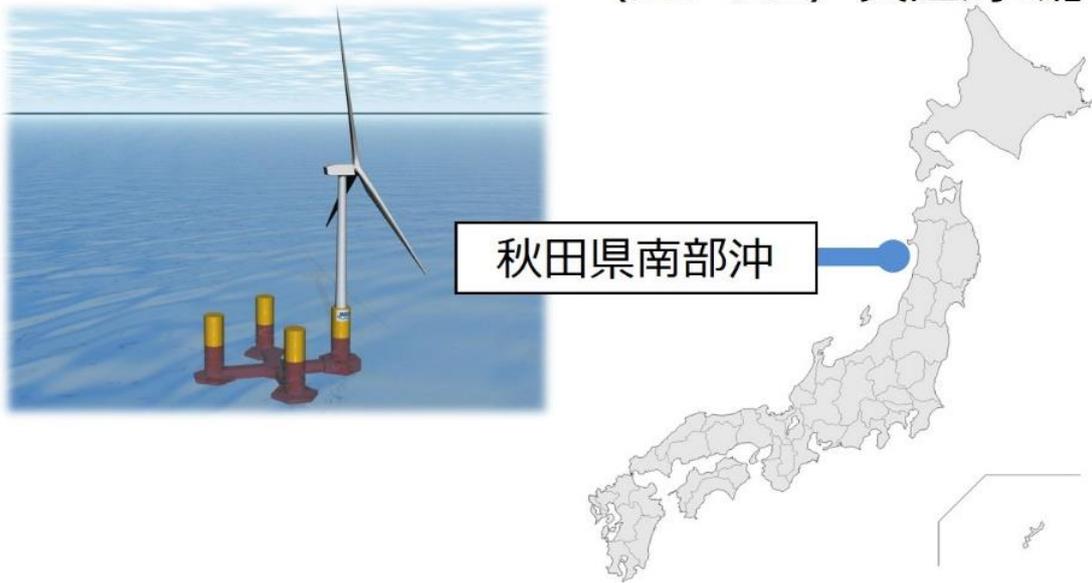
当社は、事業会社の一員として本事業に取り組み、浮体式洋上風力発電のコスト低減を図り、その導入拡大はもとより、国内サプライチェーンの構築や人材育成などの国内産業の発展に寄与し、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

（※）2050年カーボンニュートラルの実現に向け、野心的な目標にコミットする企業等に対して、最長10年間、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援する、NEDOに造成された基金

本事業の概要（予定）

プロジェクト名	低コスト化による海外展開を見据えた秋田県南部沖浮体式洋上風力実証事業
実証海域	秋田県南部沖 ※沖合約 25km、水深約 400m
風車出力	15MW 超
風車基数	2 基
浮体形式	セミサブ浮体
事業期間	2024 年 7 月～2031 年 3 月

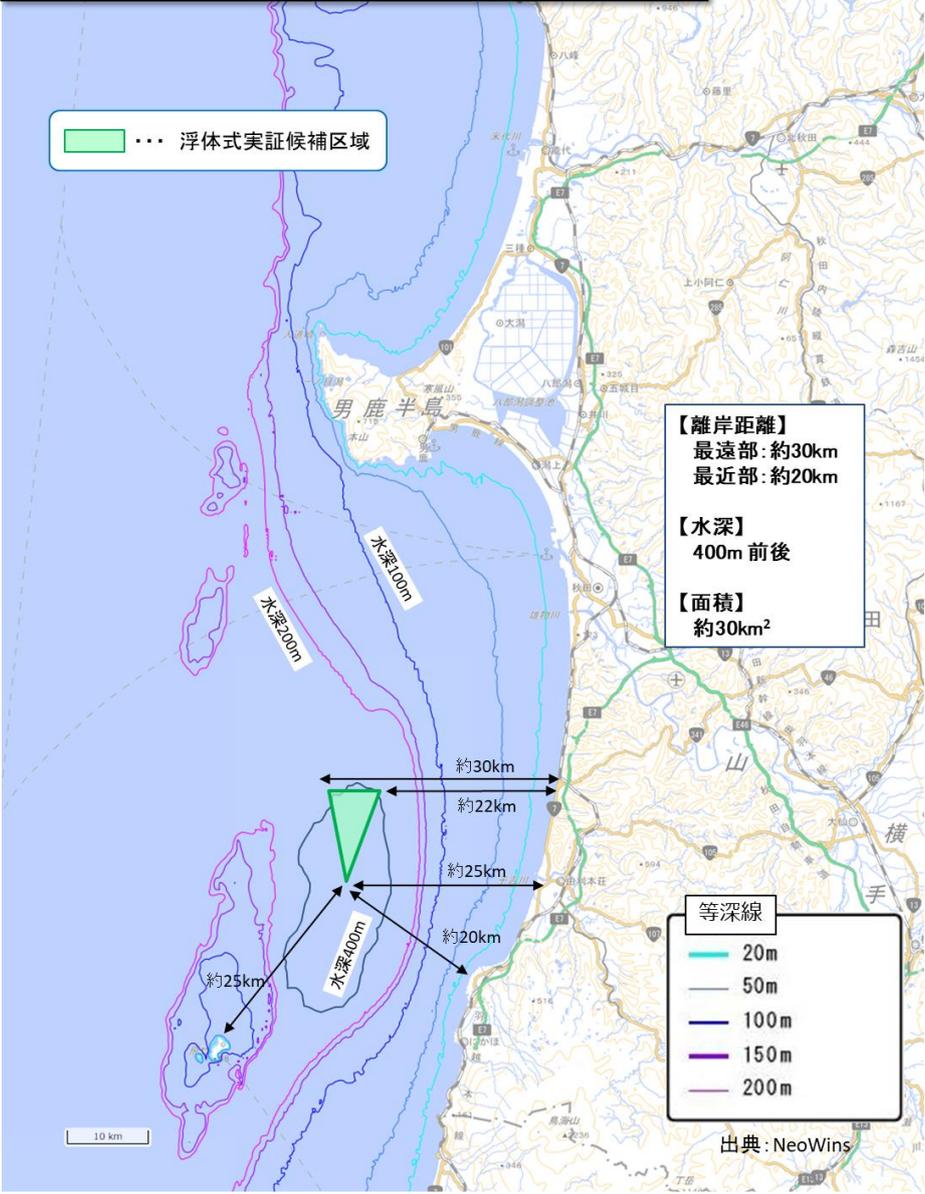
「浮体式洋上風力実証事業
（フェーズ2）実証海域」



本事業のイメージ（浮体イメージ出典：ジャパン マリンユナイテッド株式会社）

【区域の概要図】
秋田県南部沖(由利本荘市及びにかほ市沖海盆エリア) 水深・離岸距離等

【別添1】



本事業の実施区域 (出典: 経済産業省)

以上